

報道関係者各位

平成29年2月3日  
経済産業省地球環境連携室  
日本CCS調査株式会社

苫小牧地区におけるCCS大規模実証プロジェクト  
二酸化炭素圧入作業再開のお知らせ

日本CCS調査株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石井 正一）は、経済産業省から「平成28年度二酸化炭素削減技術実証試験事業」を受託し、平成28年4月6日から5月24日にかけて、7,163トンの二酸化炭素の圧入を実施しました。また、同年5月末より、弊社の管理する設備の法定点検及び保全工事並びに、ガス供給元（製油所）の大規模保全工事に伴い、二酸化炭素の圧入を停止しました。

平成28年6月から7月にかけて、二酸化炭素貯留海域において実施した海洋汚染防止法の許可申請書に基づく春季海洋環境調査において、一部の観測点で、海水中の二酸化炭素濃度に「基準線」を上回る値が確認されたため、経済産業省は、追加の採水調査及び分析等を行い、その結果を環境省に報告しました。環境省で報告内容を検討した結果、同年10月13日に環境省より、漏出は発生していなかったと考えられる旨、及び今後の監視計画のあり方が経済産業省に示されました。特に、監視計画については、今後、採水調査によって基準線を上回る値が得られた場合には、採水調査に加えて、より直接的に二酸化炭素の漏出の有無やそのおそれを確認するための調査を迅速に実施したうえで二酸化炭素漏出の有無を総合的に判断できるような監視計画のあり方について取りまとめられ、「海底下 CCS 事業に係る監視計画のあり方について」として経済産業省へ示されました。

これらを踏まえ、経済産業省では監視計画の見直し作業を行い、平成28年12月28日に「海洋汚染防止法に基づく監視計画の変更許可申請書」を環境省に提出しました。

変更許可申請書について、一ヶ月間の公告縦覧が行われた後、平成29年2月1日、環境省から経済産業省に変更許可証が交付されましたので、下記のとおり圧入作業を再開する予定です。

- ・海底下の地層中への二酸化炭素圧入開始予定：平成29年2月4日（土）

【会社概要】

名 称： 日本CCS調査株式会社  
事 業 内 容： 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の分離・回収、輸送、地中貯留（CCS）技術の事業化調査及び研究開発諸業務、実証試験

代表取締役社長： 石井 正一  
本社所在地： 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号  
資本金： 2億4,250万円  
設立日： 平成20年5月26日  
URL： <http://www.japanccs.com/>  
株主： 電力、石油元売り、エンジニアリング、総合商社、  
石油開発、鉄鋼、ガス、化学など35社

以上

※同時配信

苫小牧市政記者クラブ、北海道経済記者クラブ

【報道関係者からのお問い合わせ】

日本CCS調査株式会社

広報渉外部 広報渉外グループ

担当：金森、花田

TEL：03-6268-7610

FAX：03-6268-7385